

# Daily Report(号外)

## ～4月の米雇用統計について～

### 結果概要

米国労働省が5月5日に発表した4月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+25.3万人と市場予想(+18.5万人)を上回る結果となりました。また、前月分は同+16.5万人(速報値:同+23.6万人)へ下方修正されました。

業種別では、建設業が前月比+1.5万人(前月▲1.1万人)、小売業が同+0.8万人(同▲2.0万人)、金融業が同+2.3万人(同▲0.1万人)と前月の減少から増加に転じるなど、幅広い業種で増加しました。

失業率は3.4%と市場予想(3.6%)を下回り、平均時給は前月比では+0.5%と市場予想(+0.3%)を上回りました。また、平均時給の前年同月比は、+4.4%と前月(+4.3%(速報値: +4.2%から上方修正))から伸びが加速しました。

労働参加率は市場予想通りの62.6%となり、前月から変化はありませんでした。

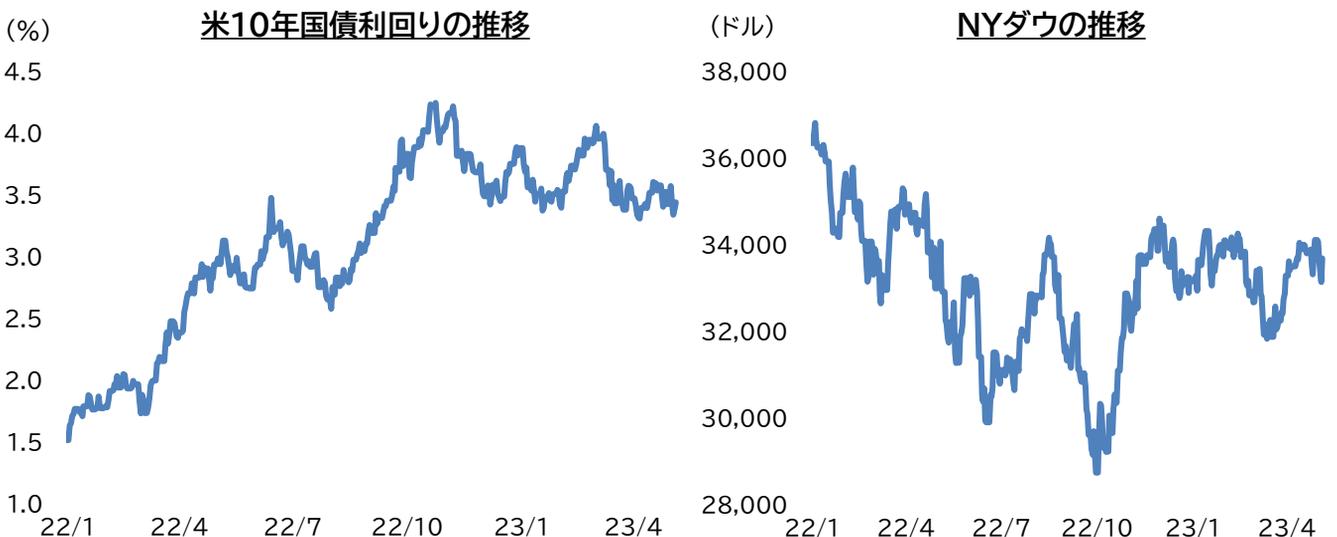
### 市場反応(米国市場)

5日の米国株式市場はNYダウ、S&P500指数、ナスダック総合指数が揃って大幅上昇しました。米雇用統計の堅調な結果から景気後退懸念が和らぎ、下落していた米地方銀行銘柄が上昇したことを受けて、NYダウ平均株価は前日比+1.65%、S&P500指数は同+1.85%、ナスダック総合指数は同+2.25%となりました。

米国債券市場は堅調な雇用統計の結果を受け、過度な景気後退懸念が後退し投資家のリスク回避姿勢が弱まったことから、10年国債利回りは前日比+0.06%の3.44%となりました。

米ドル/円は力強い雇用統計の結果や米国債利回りの上昇を受け、ドル買いが優勢となり、前日比51銭円安ドル高の134.80円/ドルとなりました。

原油先物市場は、景気悪化を背景に原油需要が伸び悩むとの懸念が後退したことから、WTI原油先物6月限は前日比+4.05%の1バレル=71.34ドルと上昇しました。



## 評価・今後の見通し

4月の雇用統計は、非農業部門雇用者数の伸びが市場予想を上回る結果となった他、失業率は前月から低下し、平均時給は伸びが加速するなど、労働市場の堅調さを示す内容でした。

引続き雇用は堅調であるものの、4月12日に発表された3月の米消費者物価指数がインフレ鈍化を示す内容であったこと、米ファースト・リパブリック・バンクの破綻など利上げによる金融システムへの悪影響が表面化していることなどから、市場の予想する6月FOMCでの利上げ確率は5月8日現在、利上げを停止するとの予想が90%前後と大勢を占めています。

今後の株式市場の見通しは、短期的には金融システム不安に注目が集まるものと予想します。4月下旬に発表された第1四半期の銀行決算の内容では銀行の健全性は示されており、金融システムの不透明感は徐々に後退していくとの見通しですが、FRBによる監督姿勢の強化が銀行経営に影響を与える可能性や、銀行の融資態度の厳格化により、企業の借り入れが従前に比べ行いにくくなるなど、経済への影響は今後も見極めが必要な状況が継続しています。また、インフレ率の低下が思うように進まずFRBの利上げ最終到達点が引上げられた場合や、利上げ期間が想定よりも長引いた場合、利上げ停止後もインフレ率が高止まりし再度利上げが必要となった場合などは、株式市場の下落リスクに注意が必要です。目先は銀行関連のニュースフローに加え、5月10日発表の4月米消費者物価指数、5月24日公表の5月FOMC議事要旨などに注目が集まると考えられますが、株式市場においては当面ボラティリティの高い相場が継続する展開を想定していません。

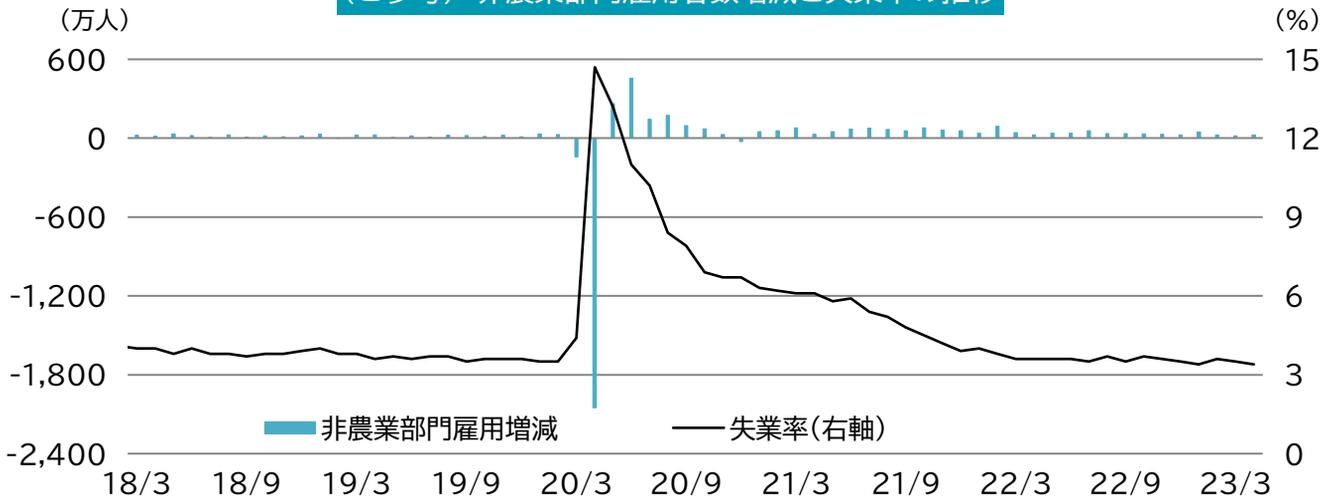
# Daily Report(号外)

## (ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

	22/11	22/12	23/1	23/2	23/3	23/4
非農業部門	+29.0	+23.9	+47.2	+24.8	+16.5	+25.3
鉱工業部門	+4.1	+3.6	+4.1	+1.8	-1.7	+3.3
建設業	+1.9	+2.6	+2.6	+1.4	-1.1	+1.5
製造業	+1.4	+0.6	+1.1	+0.3	-0.8	+1.1
資源・鉱業	+0.8	+0.4	+0.4	+0.1	+0.2	+0.7
サービス部門	+18.7	+19.6	+31.2	+17.5	+14.0	+19.7
卸売業	-0.0	+1.0	+0.9	+0.7	+0.1	-0.2
小売業	-4.6	+2.7	+2.2	+4.8	-2.0	+0.8
輸送・倉庫業	-3.7	+0.0	+3.2	-1.8	+1.4	+1.1
情報	+1.3	-0.9	-2.3	-0.8	+0.6	+0.1
金融	+1.1	+0.4	-0.1	+0.0	-0.1	+2.3
専門・ビジネスサービス業	+0.0	+2.3	+4.4	+2.1	+2.3	+4.3
人材派遣業	-4.9	-5.5	+1.7	-1.0	-1.9	-2.3
教育・ヘルスクエア業	+9.5	+7.1	+11.1	+6.4	+6.0	+7.7
娯楽・接客業	+12.3	+5.8	+9.9	+5.7	+4.0	+3.1
その他	7.7	6.7	0.2	1.4	3.6	2.9
政府部門	+6.2	+0.7	+11.9	+5.5	+4.2	+2.3
失業率(%)	3.6	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4
平均時給(前年同月比、%)	5	4.8	4.4	4.7	4.3	4.4

## (ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2018年3月~2023年4月 (出所)Bloomberg